

西の川山 トガサワラ保護林

トガサワラ(桺櫟)(マツ科)

日本特産種で高知県東部と紀伊半島の大台ヶ原山系にだけ生息する極めて稀少な樹種。温暖帯上部付近の尾根筋、特に急峻な斜面のモミ・ツガ林に混生している。樹高は40m程の高木に成長する針葉樹で見下すにはツガト似で材はサクラに似ていることからこの名前がつけられている。生態は不明な点が多く、開花・結実も数年(C6~7年)周期で、その花を見る事はとても難しい。安芸市では伊尾木川の対岸である加賀勝・裏正へ熊野・河内国境に点在する。隣接する馬路村では安田川山と魚梁瀬に保護林があり、天狗の森周辺の北平谷平山にも群生地が確認されている。